

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス リアン			
○保護者評価実施期間	令和 7年1月15日		～	令和 7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和 7年2月5日		～	令和 7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢層が幅広いため、学年にとらわれない活動やプログラムができる	同学の活動・プログラムだけでなく特性や個々に応じた組み合わせの中で色々な視点からのアプローチをしている。	地域交流の場への参加。
2	利用者家族、事業所職員にとっても相談できる場がある	外部協力者（心理士、言語聴覚士）による講演会の実施や相談支援の場を設けている。	要望があれば支援の場を増やしていく。
3	医療の知識がある職員が常駐している	現在医療児の受け入れはないが、重症児施設で10年経験のある看護師職員による緊急時（けいれん発作、心肺停止など）の対応方法を学ぶ機会があり他職員にも意識付けを行っている。	心肺蘇生法を行うための人形を借りてきての実施や、外部研修にて学ぶ機会を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域行事（地域交流）にあまり参加できないこと	基本的に事業所が土日祝日お休みのため、土曜日によく開催される地域交流の場に参加できないことが多い。	土曜日自体はたまに開所することもあるため、前年度の年間地域行事を調べた上で参加できるよう日程調整をしていく。
2	事業所のバリアフリー化	賃貸物件であることや建築構造上の問題から完全バリアフリー化が困難な状況。	要望があれば賃貸管理者との相談の上、手すりなどの設置を検討していく。
3	運動療育の支援が少ない	療育特性上、座って行う支援が多いため運動支援が少ない。また、事業所敷地が交通量の多い場所のため移動しなければならない。年齢層も幅広いため、学校終了時刻もバラバラで移動しての支援となると難しい状況。	現在は事業所室内で週に1回運動療育を行っているため、今後はその回数を増やしていく。